

# とちぎの財政

(令和8(2026)年度)

とちぎけんの予算と財政状況を  
紹介します♪

みんなで咲かせる  
とちぎ**未来共創**予算



とちまるくん©栃木県

<予算編成の基本的考え方>

「新とちぎ未来創造プラン」に掲げる重要施策の積極的な展開



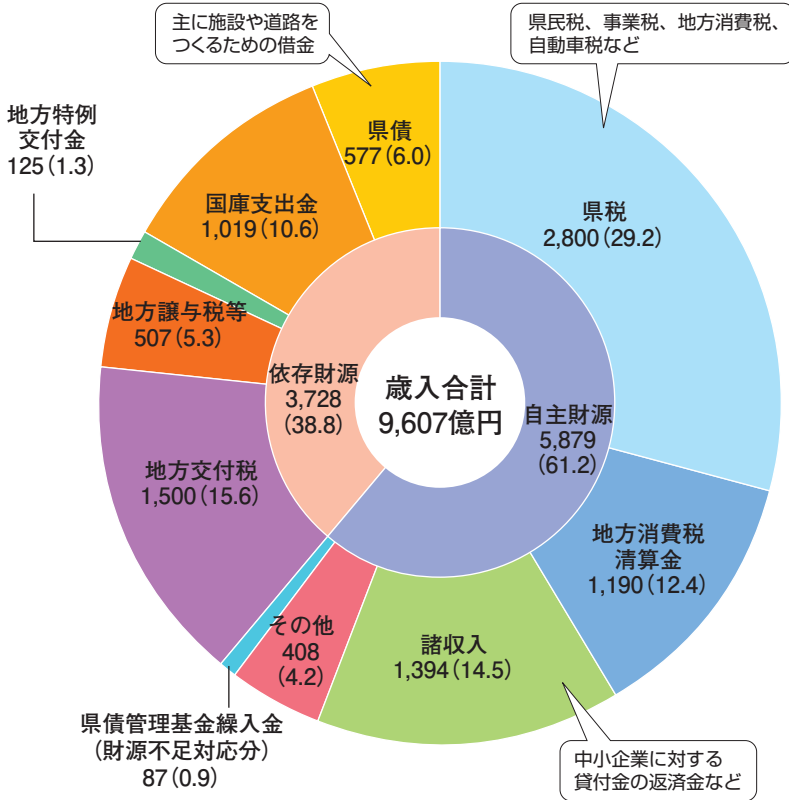
栃木県  
Tochigi Prefecture

# 1 令和8(2026)年度当初予算の概要等

## ◎予算規模(一般会計) 9,606億8,000万円

### 歳入

(単位：億円、%)



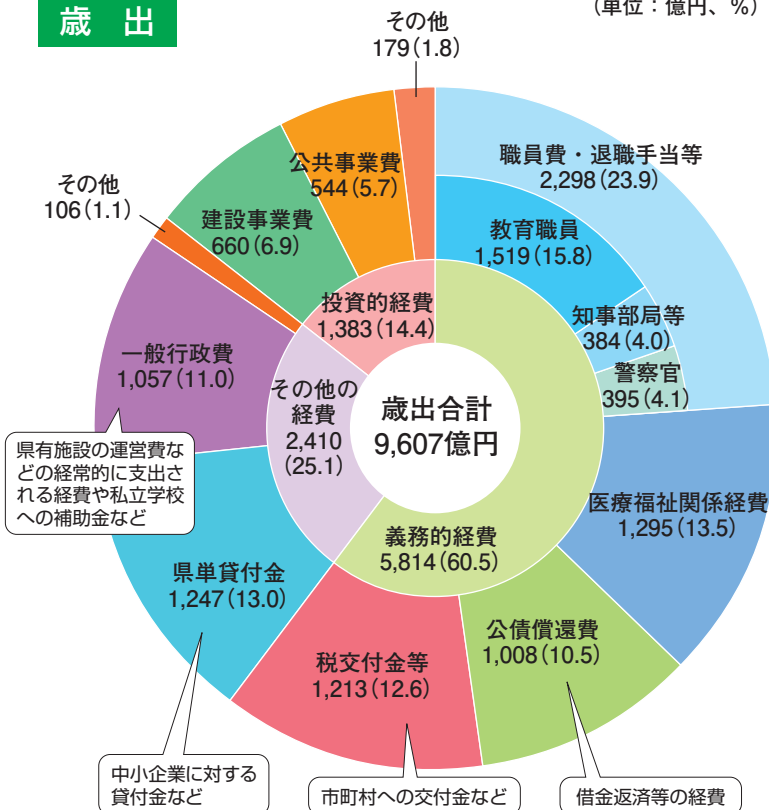
○歳入のうち、約29%が県税です。地方交付税、国庫支出金など国から配分されるものが約33%あります。

○全体の約6%を借金(県債)でまかなっているほか、足りない部分は貯金(県債管理基金)を取り崩しています。



### 歳出

(単位：億円、%)



○歳出のうち、約24%を職員費等が占めています。このうち、公立小中高等学校の先生や警察官の給与などが約83%を占めています。

○職員費等のほか、医療福祉関係経費や公債償還費など義務的経費が全体の約61%を占めています。

# 令和8(2026)年度予算の特徴

## 「新とちぎ未来創造プラン」に掲げる重要施策の積極的な展開

新とちぎ未来創造プラン  
(2026～2030)

めざすとちぎの将来像「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」の実現に向け、今後5年間に県が行う仕事の進め方等を示す県政の基本方針

### 人づくり戦略

- 県全体で結婚を応援する気運の醸成（広く県民が登録できる「とちぎ結婚サポーター制度」の創設）
- 子育て世帯の経済的負担の軽減に向けた公立小中学校の学校給食費に対する助成
- アンコンシャス・バイアスやジェンダーギャップの解消に向けた情報発信の強化
- 「とちぎ若者会議」での意見を踏まえた官民共創の取組の推進（企業等との連携による新たな視点に立った施策立案、こども・若者の意見を県の施策に反映する仕組みの導入）
- 不登校対応の総合拠点となる「県立教育支援センター」の新設（専門機関との連携強化、メタバースを活用した支援）
- 児童生徒の安全・安心な学習環境の確保に向けた県立学校の体育館・特別教室への空調設備の整備 など

### 産業成長戦略

- 重点支援成長分野（半導体・ロボット・宇宙）への中小企業等の新規参入の促進
- スタートアップ企業の創出等に向けた資金調達の支援
- 次世代を担うものづくり技能者の技術力を高めるための産業技術専門校における技能五輪支援コースの新設
- 雇用就農者の確保・定着や第三者継承の支援、地域農業の未来を担う法人経営体の育成、企業の農業分野参入の促進
- 次世代農業の確立に向けた生産者のニーズを捉えたスマート農業機器の開発・実用化
- スマート林業の推進に向けたデジタル技術を活用して先導的な経営を行う林業事業体の育成 など

### 健康・共生戦略

- 心のケアが必要なこどもへの対応に課題を抱える学校等に対する専門家チームの派遣による支援
- 救急医療提供体制の強化（救急搬送患者の積極的な受入れを促すための補助制度の創設、重症患者の受入調整を担うコーディネーターの配置の支援）、医師確保・定着に向けた取組の充実（医師修学資金制度における対象診療科の追加）
- 県内介護事業者が求職情報を効果的に発信できるポータルサイトの構築
- 困難な問題を抱える女性に対する支援体制の強化（民間団体と連携した日中の居場所づくりや自立に向けたステップハウスの提供）
- 強度行動障害に関する支援体制の充実に向けた相談窓口の設置や専門アドバイザーの派遣 など

### 安全・安心戦略





- 河川の堆積土除去や堤防強化等の防災・減災対策の推進
- 大規模災害発生時の支援物資供給体制を構築するための民間活力を活用した備蓄手法の調査
- 産学官が連携して建設業の担い手を育成するインフラトレーニングセンターの設置に向けた調査検討
- 建設事業者の生産性向上に向けた相談窓口の設置やICT機器の導入支援
- AI機能を搭載した街頭防犯カメラの設置による犯罪の抑止と検挙活動の強化 など

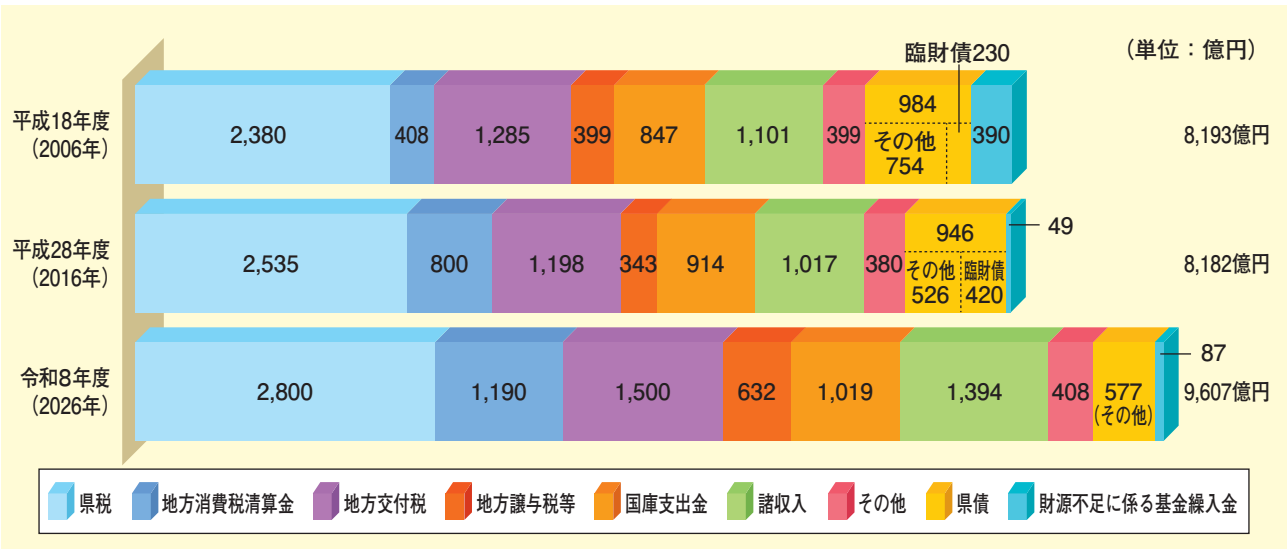
### 地域・環境戦略

- 移住の促進に向けたとちぎ暮らし・しごと支援センターの機能強化
- メディア芸術の振興を図るための「とちぎメディア芸術祭(仮称)」の令和9(2027)年度開催に向けた準備
- 植樹400年を迎えた日光杉並木の景観を100年後にも着実に引き継いでいくための後継木対策
- 県民のプロスポーツに対する愛着の醸成や応援の輪を広げるための県内プロチームと連携したイベントの開催やPRキャンペーン
- 産学官連携によるデジタル技術を活用した地域課題の解決に取り組むプラットフォームの構築
- サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行の推進に向けたリサイクル業者と製造業者とのマッチングや新たなビジネスモデル構築への支援 など





## 2 令和8(2026)年度予算の内訳(過去の予算と比べてみると)

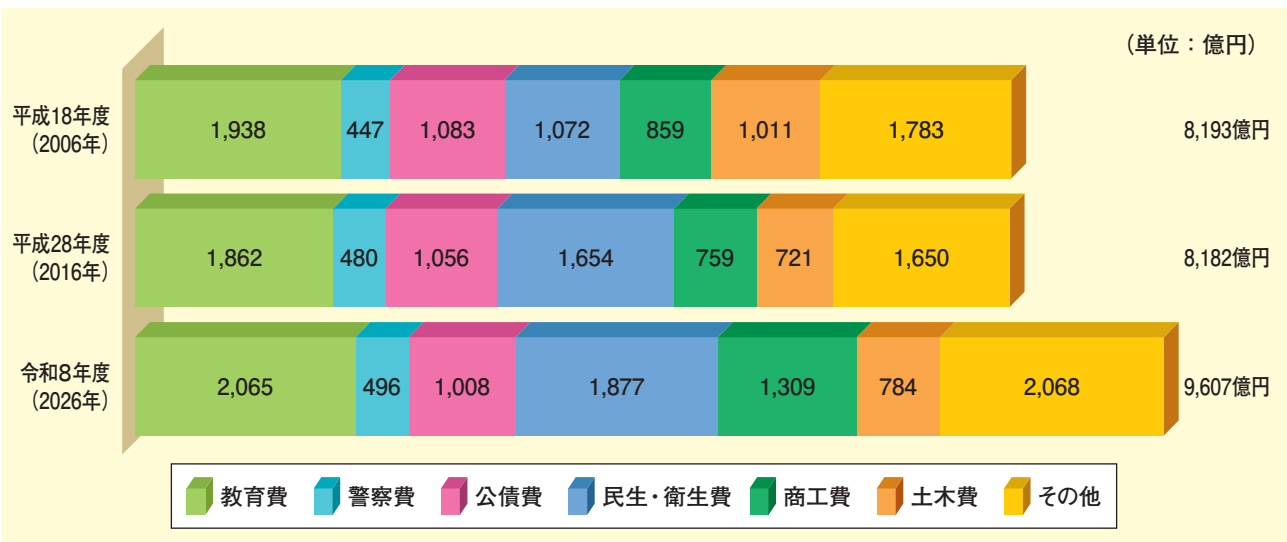
### 歳入

- 県税（）及び地方消費税清算金（）は、地方消費税率の引上げ等により増加しています。
- 令和8(2026)年度の県債（）は、臨時財政対策債（臨財債）が令和7(2025)年度に引き続き計上されない一方、臨財債を除く県債は、投資的経費の拡大に伴い、平成28(2016)年度に比べると増加しています。
- 財源不足に係る基金繰入金（）は、平成29(2017)年度以降は90～100億円程度で推移していますが、中期財政収支見込みでは、今後増加していくことが見込まれています。





### 歳出

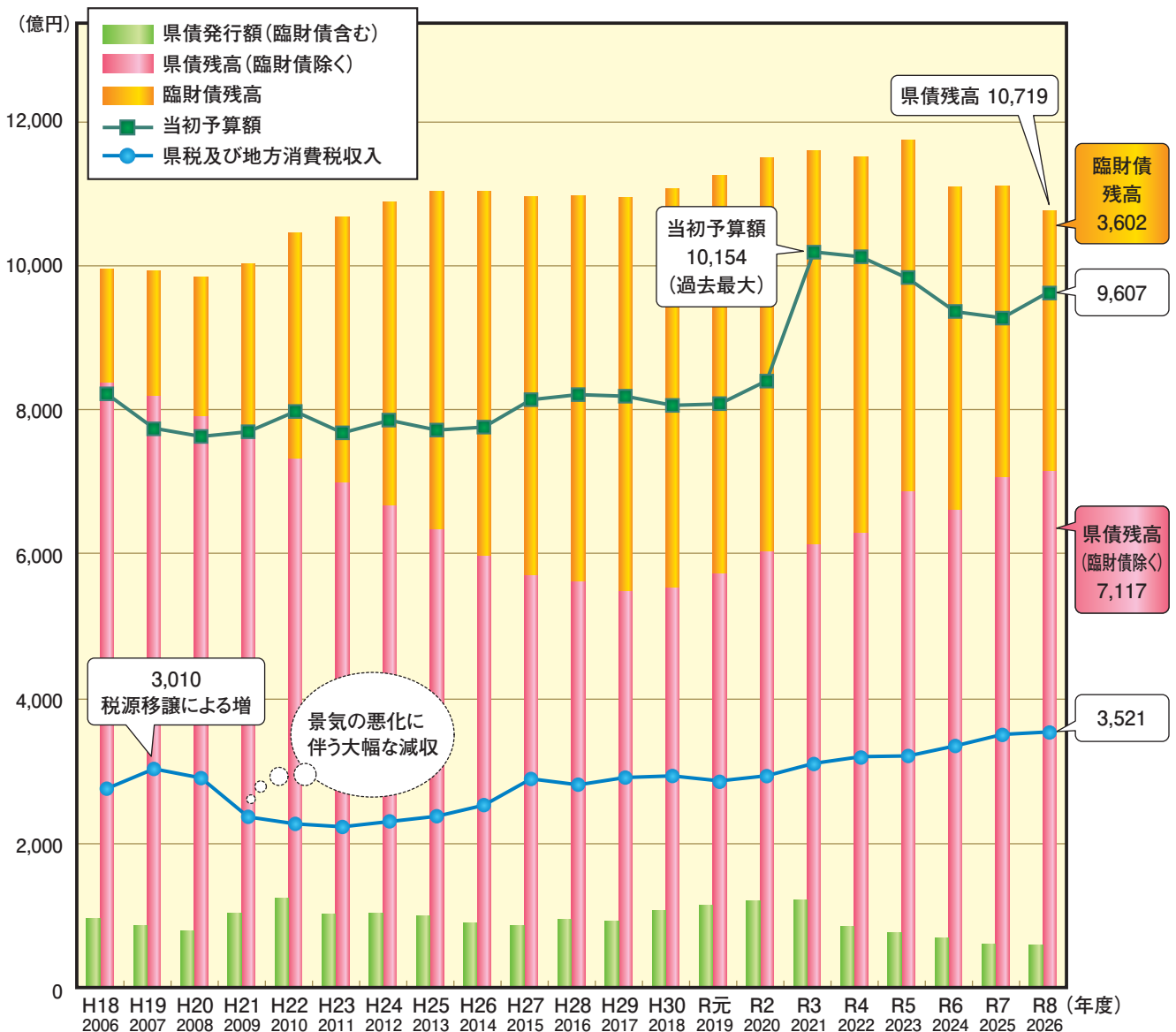
- 高齢化の進行等に伴い、福祉・医療の経費（ 民生・衛生費）が平成18(2006)年度の約2倍と大きな負担となっており、今後もこの傾向が続くものと見込まれます。
- 公共施設の建設費（ 土木費）は、平成18(2006)年度に比べて約8割になっていますが、平成28(2016)年度に比べると増加しています。
- 物価高騰の影響を受けた企業等の資金繰り支援のため、貸付金（ 商工費）が増加しています。
- 過去の借金に対する返済経費（ 公債費）は、年間約1,000億円となっており、大きな負担となっています。また、この返済経費は、金利上昇の影響等により今後増加していくことが見込まれています。



### 3 栃木県財政の推移（過去20年間をしてみると）

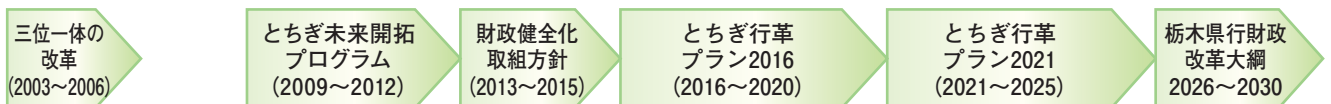
- 令和8(2026)年度の予算規模(当初予算額 )は、物価高への対応や医療福祉関係経費の増加などにより、令和7(2025)年度当初予算に対して、約365億円の増となり、当初予算としては5年ぶりの増となりました。
- 県税及び地方消費税収入※( )は、平成24(2012)年度以降、企業収益の回復や地方消費税率引上げ等により増加傾向となっており、令和8(2026)年度は、過去最大の3,521億円の予算を計上しています。
- 臨時財政対策債(臨財債)を除く県債残高は、平成14(2002)年度に過去最大の9,472億円に達した以降減少していましたが、総合スポーツゾーン等の大規模建設事業などの実施により、平成30(2018)年度に増加に転じ、さらに河川の災害復旧や国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」への対応により増加傾向となり、令和8(2026)年度末の見込額は7,117億円となっています。  
また、臨財債の残高は令和4(2022)年度から減少していますが、依然として高水準であり、令和8(2026)年度末の県債残高全体の見込額は1兆719億円となっています。

※県税及び地方消費税収入・・・県税と都道府県間清算後の地方消費税清算金の合計



※県債残高、県債発行額、県税及び地方消費税収入については、令和6(2024)年度までは決算額、令和7(2025)年度は2月補正後、令和8(2026)年度は当初予算額です。

※臨時財政対策債(臨財債)とは国から地方公共団体に配分する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を、いったん地方公共団体が借入れをしてまかなう県債のことです。なお、返済する際の財源は、全額、地方交付税等で補てんされることとなっています。



## 4 今後の財政収支見込み

- 令和12(2030)年度までの間に、単年度で87億円から130億円までの財源不足が見込まれており、それに伴い財政調整的基金残高は減少していく見込みです。
- また、公共施設等の長寿命化対策や大規模建設事業の実施などにより、臨時財政対策債を除く県債残高は増加していく見通しとなっています。

### 中期財政収支見込みについて

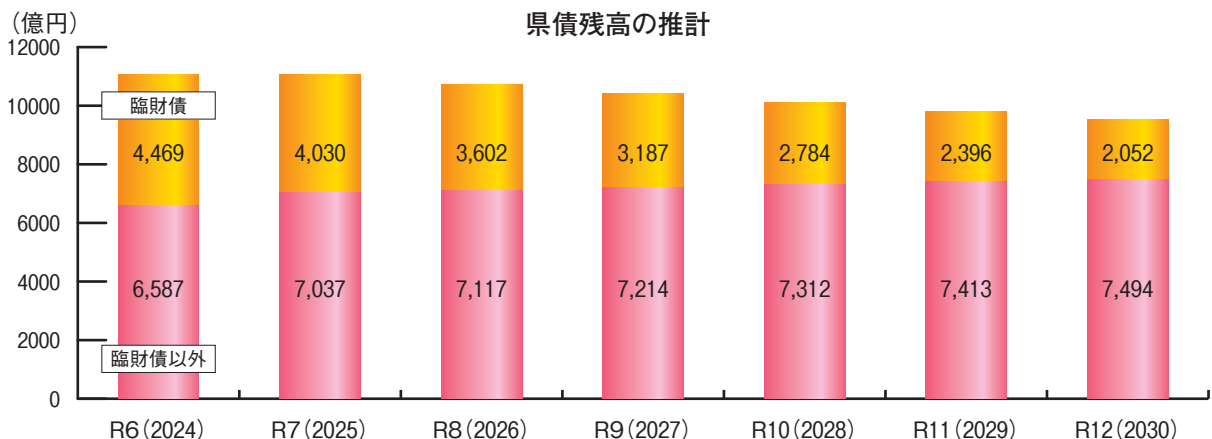
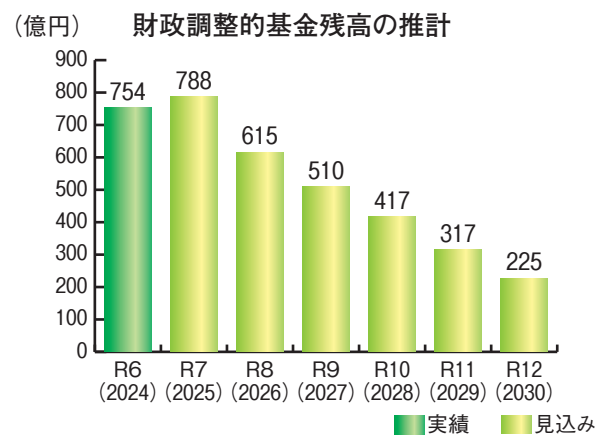
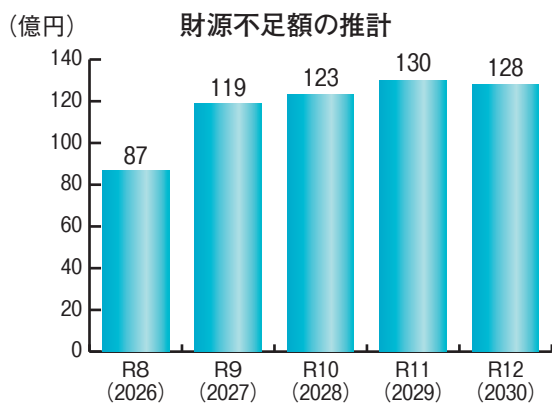
#### 概要

- ・令和8(2026)年度当初予算や国の地方財政対策等を踏まえ、いくつかの前提条件を設定し中期的な収支見込みを試算しました。
- ・今後の経済情勢の変化や国の予算編成の動向等により、試算した数値は大きく変動することがあります。

(単位：億円)

区 分	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
歳出合計（一般財源）※ A	6,419	6,449	6,478	6,543	6,577
歳入合計（一般財源）※ B	6,332	6,330	6,355	6,413	6,449
財源不足額（収支差）C = B - A	▲87	▲119	▲123	▲130	▲128
基金充当額	87	119	123	130	128
年度末財政調整的基金残高見込み	615	510	417	317	225
年度末県債残高見込み	10,719	10,401	10,096	9,809	9,546
臨財債以外	7,117	7,214	7,312	7,413	7,494

※歳出合計（一般財源）及び歳入合計（一般財源）については、地方消費税清算金を他都道府県と清算した後の数値で試算しています。



※財政調整的基金残高及び県債残高については、令和6(2024)年度は決算額、令和7(2025)年度は2月補正後の額です。

# 5 財政健全化への取組

- 中期財政収支見込みにおいては、高齢化の進行等による医療福祉関係経費等の増加などにより今後も財源不足が見込まれています。
- 引き続き、財政健全化に取り組み、持続可能な財政基盤を確立していく必要があります。

## ○「栃木県行財政改革大綱2026～2030」における主な取組項目

### 1 財政の健全性の確保

- 中長期的な見通しに基づく財政運営〔指標1～3〕  
歳入規模に見合った歳出構造への転換を進めるとともに、財政調整基金と県債管理基金の確保を図るほか、毎年度の県債新規発行額を適切に管理します。
- 歳入の更なる充実・確保〔指標4、5〕  
県税・税外債権の滞納未然防止と収入未済額の縮減や、基金の一括運用による運用益の確保等を図ります。
- ゼロベースの視点に立った歳出の見直し  
EBPMの推進等による施策の重点化や、公共事業等に係る毎年度の事業規模の精査等による投資的経費の水準の精査、医療福祉関係経費の適正化等による義務的経費の抑制を図ります。
- 透明で実効性のあるマネジメント  
PDCAサイクル等による効果的な行政評価・施策立案や、内部統制の運用による適正な業務執行に努めます。

### 2 公共施設等の適正管理と総合的な利活用・総量最適化

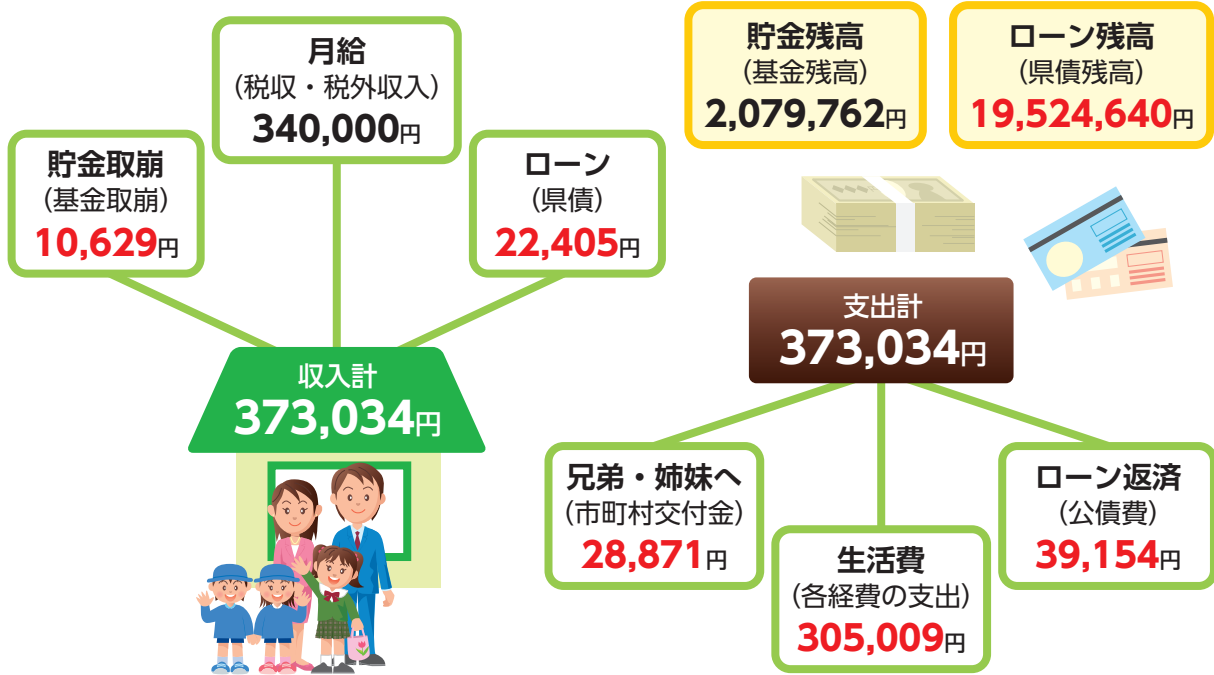
- 公共施設等の利活用の推進・総量最適化〔指標6〕  
県有施設の統廃合を含む保有総量の縮減や有効活用等を図るほか、未利用財産の売却等に積極的に取り組みます。
- 県有建築物の長寿命化の推進  
県有建築物の状況の的確な把握や適切な保全等を推進するほか、計画的・効率的な長寿命化工事を実施します。

### 3 公営企業等の自立的経営

- 公営企業の効率的な経営〔指標7〕  
「安定的なサービス提供」等の4つの基本方針のもと、計画的・効率的な経営に努めるなど、企業局経営戦略に基づき事業を実施します。
- 病院事業経営の健全化  
病院事業について、業務実績の評価等を通じた業務の効率化やサービス水準の向上を図ります。
- 県出資法人等の自律的な経営  
出資法人等に対し、経営の適正化等に向け、運営状況の把握・公表や、必要かつ適切な関与を行います。

【指標】	(項目)	(現状値)
指標1	収支均衡予算の編成 〔本大綱の推進期間中〕	
指標2	財政調整基金及び県債管理基金を合わせた年度末残高を標準財政規模の10%程度確保 〔本大綱の推進期間中〕	▶令和7(2025)年度末見込み(3月補正後) 665億円 (標準財政規模の13.9%)
指標3	令和12(2030)年度末の県債残高*を 令和7(2025)年度末の水準以下に抑制 ※臨時財政対策債・減収補てん債・災害復旧事業債・国土強 靱化対策関連事業債(強靱化債・緊自債・浚渫債)を除く	▶令和7(2025)年度末見込み(3月補正後) 5,597億円
指標4	・県税の収入未済額を前年度よりも減少 ・自動車税の納期内納付率の上昇 ・県全体の税外未収債権額を前年度よりも減少 〔いずれも本大綱の推進期間中〕	▶令和6(2024)年度 20.5億円 ▶令和6(2024)年度 85.3% ▶令和6(2024)年度 13.8億円* ※令和5(2023)年度測定分
指標5	前年度よりも高い利回りの確保 〔本大綱の推進期間中〕	▶令和6(2024)年度 預金平均利回り 0.039% 債券平均利回り 0.276%
指標6	建築物の総保有量(延床面積) 2.5%以上縮減(令和5(2023)年度比) 〔令和12(2030)年度〕	▶令和6(2024)年度末現在 1.0%縮減
指標7	公営企業会計から一般会計への地域貢献のための 繰出し額(累計*) 8億円以上 〔令和12(2030)年度〕 ※令和8(2026)～令和12(2030)年度累計	▶令和3(2021)～令和6(2024)年度累計 4.47億円

# 栃木県の財政を月給34万円のサラリーマン世帯に例えると (令和8(2026)年度)



## みんなの“未来”を育てるサイト。

「とこぼ」は、妊娠から出産、子育てに関する情報を一元化した  
子育て支援ポータルサイトです。  
サイト機能や掲載情報を充実・強化して、県内外の皆さまへ  
栃木県での子育ての魅力を発信していきます。



## 本物の 出会い 栃木



花々が作る夢の世界、  
自然に優しく抱かれる空間、  
心やすらぐ温泉、  
絢爛豪華な文化遺産、  
一年中食べられる苺  
本物との出会いを求めて、  
さあ栃木へ

栃木県公式観光ホームページ

## ふるさと“とちぎ”への応援(寄附)を募集しています!!

みなさまからのご寄附は、スポーツの活用による地域活性化、プロスポーツ支援、文化の振興、輝く人づくり、交通安全、福祉の向上、医療の充実、森づくり、学生の応援や日光杉並木街道保護など、ふるさと“とちぎ”づくりのために幅広く活用させていただきます。

- クレジットカードでも寄附金を納付することができます。
- ふるさと納税として、所得税、個人住民税の控除の対象になります。



◎お問い合わせ先 総合政策部 人口未来課  
TEL 028-623-2826

## 栃木県宝くじ情報

みなさん  
宝くじは栃木県内で  
買ってね。



県内で発売された宝くじの  
収益金は、皆さんの身近な暮  
らしに役立っています。

◎お問い合わせ先 財政課  
TEL 028-623-2017

## 栃木県経営管理部財政課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20  
TEL 028-623-2017  
URL <https://www.pref.tochigi.lg.jp>  
E-mail [zaisei@pref.tochigi.lg.jp](mailto:zaisei@pref.tochigi.lg.jp)